

## 21世紀の社会に求められる人材

「2011年度にアメリカの小学生に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在しない職業に就くだろう」これは、アメリカの研究学者キャシー・デビットソンによる未来予測の研究成果である。もちろん、日本社会の未来が、先に示した通りになるかどうかは定かではない。しかし、確かに言えることは、**これからの社会の変化は、今まで以上に劇的で激しい**ということです。

つまり、じっくり考えること、どれが適切かを正しく判断し決断することなど思考を伴うものは私たち人間に求められる能力であり、そうした能力は今後ニーズが高まる。また他者と話し合ったり情報交換したりして、新しいアイデアを生み出し創造すること、折り合いを付け一致点を探ることなども機械では難しいことである。

「授業を磨く」より 文部科学省教科調査官 田村 学氏

### 最近の授業の様子

本校では、**すべての教科の中で**、話し合い活動を取り入れ、自分の考えの発表や説明に重点を置いた学習に取り組んでいます。また、授業の終わりには、自分の考えをまとめ、自分の言葉で表現していきます。ご家庭でも日々の会話の中で、自分の言葉で話す機会を増やし、より豊かな表現ができたときには、大いにほめていただきたいと思えます。



### 少人数授業について

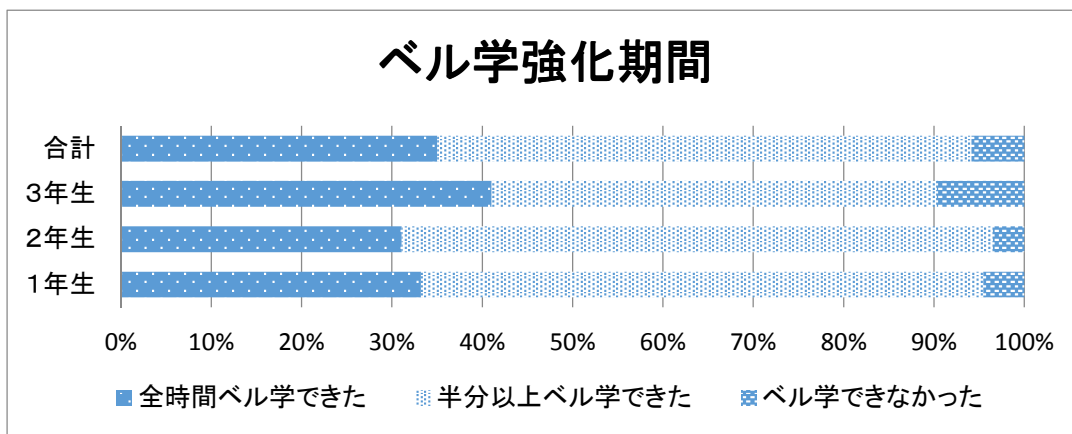
2・3年生の数学と英語で、少人数指導を実施していますが、8月の確認テストの結果やアンケート、個別の相談により、若干の生徒がコース変更を行いました。自分にあったコースでやることで、生徒も安心して学習に取り組み、「分かった」という達成感につながっているようです。

## 9月学習目標 「2分前着席で、ベル学！ 落ち着いた授業スタートを！」



晴天の中、大いに盛り上がった体育祭が終わりました。生徒一人一人、団のために競技や応援を一生懸命やっている姿がたくさん見られました。この体育祭は、クラスの団結が強まる良い機会となったのではないのでしょうか。

さて、新学期がスタートして、2週間がたちました。本校では、より良い学習習慣を身に付け、集中して学習に取り組むことで学力向上を目指しています。今月の学習目標は『ベル学』の徹底です。9月2日（水）～9月9日（水）の期間、ベル学強化期間として、ベル学のチェックを行いました。これまでは、先生がベル学を呼びかけていましたが、今回は各学級のプログラム委員がベル学を呼びかけることにしました。以下はベル学チェックの結果です。



## ベル学強化期間を終えて



### <プログラム委員の感想>

- ・プロ委として呼びかけることができた。
- ・最初の方は全然ダメだったけど、最後の方は全員ができたので良かった。これからも続けていきたいです。
- ・全時間ベル学ができた人が少なかったので、これからも意識してほしい。
- ・この1週間、プロ委だけでなく他の人も呼びかけをしてくれた。ベル学できなかった人が0人だったのがよかった。今後も変わらずベル学に努めたい。

### <担任の先生のコメント>

- ・しっかりと呼びかけることができていました。続けて全員全時間できることを目指そう。
- ・自分の学級だけでなく、学年全体でベル学を完璧に！
- ・当たり前のことを当たり前に行えるように、みんなで意識を高く持とう。
- ・1分でも1秒でも大切にしてほしい。受験生のみなさん、「ベル学できなかった」はありえません。時は金なりですよ。



